

平成 30 年度 第 1 回 倫理委員会審議

申請者	副看護部長	岩本 早苗
受付番号	18-01	
課題名	「分娩業務を行う助産師を対象としたアドバンス助産師取得の現状と課題」の調査研究協力	
研究の概要	本研究では、九州 5 県（長崎県・佐賀県・大分県・熊本県・宮崎県）の産科病棟を有する病院と診療所及び助産所におけるアドバンス助産師取得の現状と課題について明らかにすることを目的とする。これにより、キャリアデザインをしていない助産師のための継続教育の基礎資料を提供することができ、より多くの助産師がアドバンス助産師として認められることで、助産ケアの質の向上にも繋がると考える。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	循環器内科部長	下村 光洋
受付番号	18-02	
課題名	リードレスペースメーカー	
研究の概要	リードレスペースメーカーMicra は、デリバリーシステムを用いて鼠蹊部から大腿静脈を経由して心内に直接留置することを目的に小型化されたペースメーカーシステムである。従来のペースメーカー機能である、1.5/3 テスラ全身 MRI 対応、加速メーターベースのレートレスポンス、キャプチャマネージメントなどを有している。また、経静脈的に本体を心内に留置することで、従来のペースメーカーが必要とした植え込み機器用の皮下ポケット作成およびペーシングリードの挿入・留置が不要となるにも関わらず、従来と同様の便益を享受しつつ、かつ、これらに起因する合併症が回避されることが期待される。	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	放射線科撮影透視主任	木須 康太
受付番号	18-03	
課題名	立位撮影台を用いた母指 CM 関節撮影の試み	
研究の概要	母指手根中手関節(carpometacarpal joint:以下 CM 関節)の撮影法としては、Robert 法が代表的であるが、この撮影方法は窮屈で無理な姿勢であり、高齢者や身体的に不自由な患者にとっては整位の保持が困難であることが多い。そこで今回患者に負担が少ないことを基本テーマに新しい母指撮影方法を考案した。この新しい撮影法と従来の当院での撮影法について撮影整位保持の容易さ及び画像評価を行いたい。	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	脳外科部長	宮園 正之
受付番号	18-04	
課題名	一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業（Japan Neurosurgical Database : JND）への参加	
研究の概要	近年、高齢化の進展と医療費の増加に伴い、世界的に医療の質や適切な医療へのアクセスに対する関心は高まりつつある。本研究は、一般社団法人日本脳神経外科学会（以下、本学会）会員が所属する、日本全国の脳神経外科施設における手術を含む医療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すことを目的とする。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	麻酔科医長	杉山 馨祐
受付番号	18-05	
課題名	帝王切開における術後鎮痛	
研究の概要	<p>オピオイド関連副作用（悪心、嘔吐等）は術後早期回復を阻害し、患者満足度を低下させ、医療コストを増大させる。そのため、術後疼痛管理においてはオピオイド節減が重要になってくる。現在、術後鎮痛法として多様式鎮痛法（multimodal analgesia）が提唱されており、作用機序の異なる鎮痛様式を組み合わせ、鎮痛効果向上および各鎮痛様式の副作用を低減化することができる。帝王切開術の術後には後陣痛を取るために追加で鎮痛薬を投与することが少なくない。本研究では、帝王切開術後の鎮痛の程度、副作用、患者満足度等を調査する。当院で行われる術後鎮痛の質の評価を行うことで、今後の術後鎮痛の質の向上につながると考える。</p>	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	呼吸器内科医長	中富 克己
受付番号	18-06	
課題名	第3世代EGFRチロシンキナーゼ阻害剤効果予測における血漿遊離DNAの有用性についての研究	
研究の概要	<p>MBP-QP法は、mutated-biased PCR(MBP)法と quenching probe(QP)法を組み合わせた新規遺伝子変異同定法であり、高感度であるため、血漿遊離DNAからの変異検索が可能である。</p> <p>オシメルチニブは、現在コンパニオン診断薬として cobas® EGFR Mutation Test v.2 が用いられており、再生検または血漿DNAでのT790M陽性が投与要件となっている。本研究では、この要件を満たしたオシメルチニブ投与症例において、MBP-QP法を用いた血漿遊離DNA T790M検出とオシメルチニブの効果の関連について検討し、同検査の有用性を検証する。更に、近年報告されているオシメルチニブ耐性化時の遺伝子変化、C797S、T790M消失、BRAF V600E、および新規遺伝子変化について、MBP-QP法、次世代シーケンス法で解析する。</p>	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	泌尿器科医長	林田 靖
受付番号	18-07	
課題名	膀胱鏡を併用した腹腔鏡下膀胱破裂修復術の有用性の検討	
研究の概要	<p>腹腔鏡に経尿道的アプローチを併用した方法を行うことで、必要最小限の穿孔部位の同定、視認下での十分で確実な粘膜縫合を可能にできると思われ、その有用性について、以下の手術手技を用いた臨床研究を行う。1. 腹腔鏡下膀胱破裂修復術を行う。軽度頭低採石位にて臍上横切開法による3-4ポートを使用したアプローチを行う。2. 経尿道的アプローチは通常TUR時のレゼクトスコープを使用し、補助を行う。</p> <p>従来の開腹での膀胱破裂修復術と比較し、術中合併症や術後再発率、術後経過について有意差があるかどうかを確認する。</p>	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	西 1 病棟看護師	池田 綾華
受付番号	18-08	
課題名	糖尿病教育入院患者への腎症予防指導の現状について－半年後外来での採血結果を通して－	
研究の概要	<p>現在、糖尿病教育入院時に、病棟では低血糖、シックデイ、網膜症においてはパンフレットを用いた指導を行い、また患者の理解度を確認する糖尿病理解度チェックを行っている。しかし、腎症予防に特化した指導内容はまだ確立されておらず、栄養士による栄養指導はあるが、看護師の個別指導には組み込まれていない。また、退院後の生活については問題点を把握する機会がなく、入院中の療養指導に不足している点がないか、現状を知ることが出来ていない。そこで、糖尿病教育入院患者を対象とし、退院から半年後の外来診療時のHbA1c 値と推定塩分摂取量、eGFR 値を比較することで退院後の患者の生活状況を把握し、患者に必要とされる療養指導の課題を見出していきたいと考える。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	東 1 病棟看護師	堀江 愛美
受付番号	18-09	
課題名	上肢骨折の周術期患者の腫脹軽減を目的としたポジショニングにおける看護師の意識調査	
研究の概要	<p>骨折により周囲の組織の炎症が起こる。炎症の 4 徴候として、疼痛、発熱、発赤、腫脹があり、術前に腫脹が強い場合、水泡等の皮膚トラブル、感染の危険性により手術が延期となる事例もある。当該病棟では主治医の指示のもと、手術前から患部の挙上を行っているが、スタッフの認識の違いや知識不足から、術前の挙上が十分に実施できていない現状がある。今回、病棟スタッフを対象として、患部の挙上に対する必要性の認識や理解度、患者への説明内容、実施状況の把握を目的としたアンケート調査を実施し、看護師の意識を明確にしたい。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	西 3 病棟助産師	黒川 菜穂子
受付番号	18-10	
課題名	小児科病棟に入院した児をもつ母親の母乳育児に関する不安～インタビュー分析からみえる母親の思い～	
研究の概要	<p>当病棟は Baby Friendly Hospital (以下、BFH) 認定施設で母乳育児に力を入れているが、小児科病棟の母乳育児については小児科看護師の判断で相談を受けた事例のみしか行っていなかった。しかし、小児科入院患児の母親がネーム札の“助産師”という職種を見て、授乳の相談をされることがあり、小児科に入院した児を持つ母親にも、不安があると感じた。そこで本研究では、入院している児をもつ母親の母乳育児不安の内容を明らかにすることを目的とする。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	東 4 病棟看護師	篠田 冬美
受付番号	18-11	
課題名	開心術を受けた患者の CCU 入室中のストレスと抑うつ・不安の関連	
研究の概要	<p>CCU に入室する患者は身体的・精神的ストレスが非常に高い状態にある。しかし、私たちは看護師の憶測からストレスケアをしている現状にある。今回の研究では、実際に CCU に入室した患者に CCU 入室中に感じたストレスについての質問調査を行い、患者が感じたストレスの内容を明らかにし、今後の援助に活かしていく。CCU 退室後の精神状態について質問調査を行い、CCU 入室中のストレスと精神状態との関連を検討していく。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。